

開発建設部

喜舎場スマートIC 供用開始

Point

平成18年11月から平成19年3月まで社会実験を行っておりまし
た。喜舎場スマートICが、平成19年10月27日(土)から供用を開始しました。

1. 導入の経緯

本県では、南北方向の幹線道路である国道58号、国道329号等において、慢性的な渋滞が発生しています。また、北中城村においては、北中城IC及びIC周辺道路の混雑が問題となっており、高速道路へのアクセス性の向上及びIC周辺道路の混雑緩和が課題となっていました。

た(写真1・2)。このため本県における渋滞緩和対策として計画を進めている、交通の円滑化を前提としたハシゴ道路構想(南北方向の幹線と、それらを連絡する東西幹線道路の整備)の一環として、喜舎場スマートIC導入検討の社会実験を行いました(図1)。

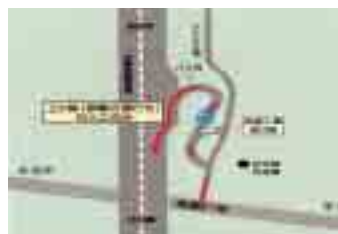


写真1



写真2

図1



▲詳細図

◀広域図

図2



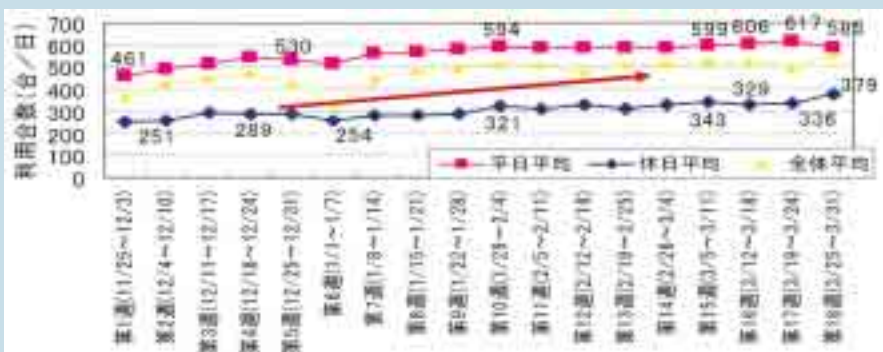
2. スマートICとは

簡単に言うと、既存のパーキングエリアや高速バスストップなどをアクセス道路となる一般道と結んだETC専用の簡易なインターチェンジのことです。これは、一般のICと比べて規模や設置費用、管理費用が大幅に削減できることから、ICの設置が容易になります。

この結果、高速道路の通過地域だった箇所にスマートICを設置することで、既存の高速道路を活用することが容易になり、民間の物流拠点誘致など地域活性化に寄与することが期待されます。

喜舎場スマートICは、沖縄自動車道喜舎場バスストップを活用したETC専用のインターチェンジです。

図3



3. 社会実験の結果

①利用台数について

実験期間中の利用台数については、平均で平日600台、休日350台でありました。この結果は、他のスマートICとの比較で1ランプ、1時間当たりの利用台数は全国3位という結果となり、当該ICの利用者ニーズの高さが窺えました(図3、4)。

図5：時間短縮の有無

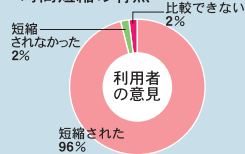
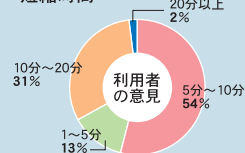


図6：短縮時間



②整備効果について

■効果1：那覇方面へのアクセス時間が短縮されます。

・スマートIC利用者の96%が時間短縮を実感(図5)

・平均短縮時間は約6.5分(アンケートより)(図6)

・走行調査では北中城村役場(北中城ICまで)約2分30秒短縮(図7)

図4

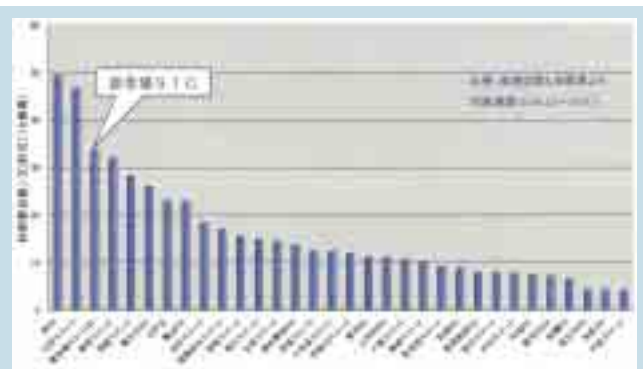
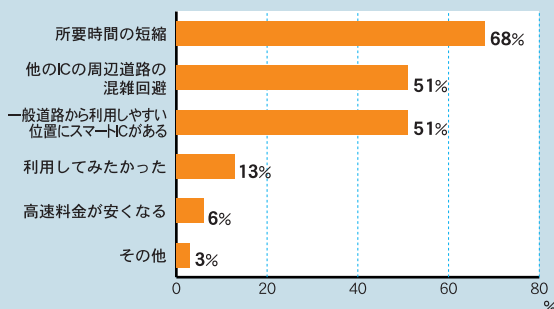


図8 スマートICを利用した理由



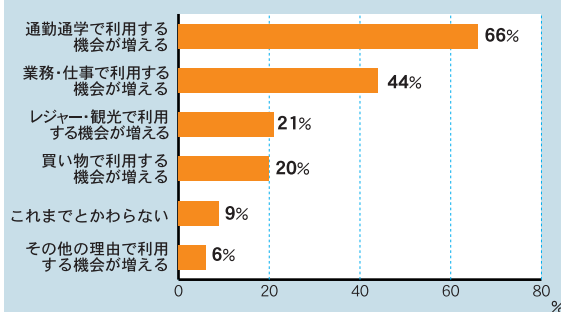
■効果2：北中城IC周辺道路の渋滞からの回避、一般道の混雑が緩和されます。

利用者アンケートの結果「所要時間の短縮：68%」、「他ICの周辺道路の混雑回避：51%」の割合が多く、当該ICが周辺道路の円滑化に寄与(図8)。



図7

図9 スマートICによる高速道路の利用変化



■効果3：高速道路の活用が広がります。

喜舎場スマートICが設置されたことにより、66%の人が高速道路の利用機会が変化すると感じています(図9)

4. 今後のスマートIC

本スマートICは、社会実験の結果から採算性及び道路利用者ニーズの高さと、当該地周辺の交通円滑化への寄与が確認され、本格運用へ移行することが決定されました。

供用開始しました10月27日(土)からは、社会実験時と比べ運用時間を午前6時から午後10時と2時間延長し、サービスの向上に努めております。

皆様、是非ご利用ください。